

白山杉峠道などの整備に貴方も参加しませんか。

1 杉峠道を守る会へのご案内

鈴ヶ岳を守る会の相当数の有志で、3年前から「白山杉峠道を守る会」を地元の人々や日本山岳会の有志の人々と共に結成して、杉峠道の整備や越前禅定道の三ッ谷・小原峠区間の整備に取り組んでいます。鈴ヶ岳を守る会での白山登山の中から産まれた活動です。ご興味のある方は是非ご参加ください。

2 杉峠道とは

現在は合併によって、白山市の一部になっていますが、旧白峰村に三ッ谷という集落がありました。県道白山公園線が市ノ瀬に近づく少し手前の谷を南に折れて車で5分程入った所です。今は、三ッ谷出身の方々が何軒か夏場の別荘を建てています。昭和36年に廃村となって、地図からも消されてしまいましたが、最盛期には72戸の集落でした。山の中で生活にも厳しい土地でしたが、藩政期には越前藩、明治に入っても始めは福井県、途中から石川県に編入されたり、生活の糧であった共有林が国有林に取り上げられ、また飢饉もあって、多くの人々が北海道に渡ったり、昭和9年の大水害で壊滅的な被害を受けたり、多くの苦労の歴史を持つ集落でした。

杉峠道は、この三ッ谷から県境の稜線にある杉峠に至る道のことです。行程は約2キロ、登りで約1時間30分、降りで約1時間。始めの20分程は急登ですが、その先からは歩きやすい、足に優しい道です。途中のブナ林は見事で、所どころで三ノ峰が望めます。この道は、昭和の始め頃までは福井の大野市の上小池や美濃の石徹白(いとしろ)までの住民の生活道路として使われ、近年では白山の三ノ峰から赤兎山に至る登山道に至る道として使われてきましたが、利用者の減少などによって荒れ果て、事実上の廃道となっていました。この間、何人かの有志が刈払いをしてはいましたが、平成18年11月三ッ谷の登山口(三ッ谷の集落から東俣谷川沿いの林道で150メートルほど右側)に標識を設置する活動を契機に白山杉峠道を守る会を結成し、年数回の整備を続けてきて、少しずつ良い道になってきています。

3 越前禅定道の整備について

越前禅定道（三ッ谷から小原峠間）は、泰澄大師の白山開山の道であり、白山の禅定道では最も歴史のある道でもあり、近年まで白峰や三ッ谷と勝山を結ぶ重要な生活道路でもありました。途中の砂防工事地点からは登り1時間余、下りで1時間弱、勾配のゆるやかな歩きやすい道です。しかし近年の生活の変化や車社会の中でいつしか忘れられた道となり、事実上の廃道となって、山の地図にも載らなくなっています。しかし石川県側からの赤兎や大長山に至る重要な登山道でもあり、沿道には川上御前などの歴史の記念碑もあり、少しずつでも歩ける道にという思いで平成19年8月から刈り払いを始めました。

4 これまでの白山杉峠道を守る会の活動の記録

平成18年11月4日	登山口に標識を設置、刈り払い
平成19年6月17日	刈り払い。三ッ谷で歴史を聞く会開催
平成19年8月25日	刈り払い。川上御前前で歴史を聞く会開催
平成20年6月1日	越前禅定道の標識を西俣谷に設置、川上御前にベンチの設置などを予定